

安祥文化のさと

安祥公民館だより

2月4日は「立春」。暦の上では春となります。2月は節分の豆まき、バレンタインデーなど楽しいイベントや行事が続きます。寒さに負けず元気に過ごしたいですね。



第191号
令和8年2月

人形劇団
むすび座

安祥わくわく人形劇

入場無料

入場整理券配布 2/21 ~

「ともだちや」を上演します！

令和8年3月7日(土)

10:30~11:20

(開場 10:15)

安祥公民館 1階
大会議室兼体育室



★定員は80名です。

令和8年2月21日(土)午前9時より安祥公民館窓口で入場整理券を配布します。

★全席自由席です。上演時間の15分前より入場できます。入場には整理券が必要です。

★問い合わせ：安祥公民館 (0566) 77-5070

安祥公民館まつりへのご参加ありがとうございました！

12月6日(土)・7日(日)



歴史博物館からのお知らせ

企画展「村中安全－江戸時代の村と人々の営み－」

令和8年2月7日（土）～3月22日（日）

【休館日】毎週月曜日 ※2月23日は開館

【開館時間】9:00～17:00（入館は16:30まで）

【観覧料】観覧無料

江戸時代の安城市域にはおよそ39の村がありました。城下町や宿場町、港町、門前町など都市的な場所はなく、いわゆる農村地帯とされます。

市域には村を治める大名や旗本・幕府・寺社の領地が混在し、また複数の領主に支配された相給村落なども数多くありました。そのなかで村人（百姓）たちは、自治をもって村を運営し、村役人は領主の通達や年貢納入などを取り仕切りました。

一見整った体制の中で村人は暮らしているようにみえますが、領主からの命令や、水害などの自然災害、村内では事件・事故、隣村との間には村境や水争いなど、常に様々な困難が起きていました。

このような困難に対して、村の入口に建てられた常夜灯に「村中安全」との願いが刻まれています。展示では、村や村人の多様な暮らしを、古文書や絵図などを通して、紹介していきます。



関連イベント「そば打ち体験会 そば切りを作ろう！」

【日時】令和8年2月8日（日）10:00～12:00

【定員】12組（事前申込み先着順）

【講師】杉浦ひろ子氏（安城エプロン会）

【参加費】500円

【申込】1月18日（日）9:00～電話受付



「きもの帯でつくるリメイク帯バッグ講座」

【日時】令和8年3月1日、8日（日）全2回 10:00～12:00

【定員】12名（事前申込み先着順）

【講師】杉浦菜穂子氏（愛知学泉短期大学生活デザイン総合学科）

【参加費】5,000円（材料費込）

【申込】2月11日（水）9:00～電話受付



2月の休館日

2日（月）・9日（月）・16日（月）
23日（月・祝日）は開館します。

